

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2025年7月29日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都中央区京橋1丁目5番8号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本冶金工業株式会社 代表取締役社長 浦田 成己
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001:2015
適 用 範 囲	日本冶金工業株式会社大江山製造所
導 入 年 月 日	2001年 11月 22日
認 証 番 号	NO. E353
基 本 方 針	<ul style="list-style-type: none"><li>・全従業員で環境保全活動に取り組み環境目的</li><li>・目標を設定し定期的な見直しを行い継続的な改善を図る。環境保全に関する法律、条例、協定等を遵守し、自主基準を設け環境保全の向上を図る。環境保全活動による省資源リサイクル、省エネルギーを通じ環境汚染の予防を図る。</li><li>・環境方針を周知し、環境目的及び環境目標の教育により、環境管理システムを維持する。</li><li>・環境保全活動を維持するため地域社会との協調連帯を図る</li></ul>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①リサイクル燃料の使用（重油からのCO2削減） ・・・重油代替率前年度比1%増 ②エネルギー原単位の削減 ・・・前年度比1%減
目標を達成するための取組の内容	①リサイクル燃料の使用（重油からのCO2削減） 重油代替として再生油を使用し、石炭代替として廃プラスチック原料を使用する事によりバージンエネルギーを削減する。 ②エネルギー原単位の削減 炭材、重油、微粉炭等のエネルギーロス改善及び高品位原料の使用によるNi回収量改善。
目標を達成するための取組の進捗状況	①リサイクル燃料の使用（重油からのCO2削減） 重油代替として再生油を使用し、石炭代替として廃プラスチック原料を使用する事によりバージンエネルギーを削減中。 ②エネルギー原単位の削減 炭材、重油、微粉炭等のエネルギーロス改善中。また、高品位原料の使用量を増加させる事によりNi回収量の増加に努めている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	
事業活動に係る法令の遵守の状況	日本検査QAによるサーベイランス審査を受け、遵守されていることを確認。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	日本検査QAによるサーベイランス審査を受け、引き続きシステムの運用を継続する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。